

本院リウマチ・膠原病内科、中村英樹講師が長崎新聞社賞を受賞しました

リウマチ・膠原病内科の中村英樹先生が第62回長崎県美術展覧会（県展）洋画部門に出品されていた、「時の流れ」F80号（145.5cm x 112cm）が長崎新聞社賞を受賞しました。

本展覧会は広く県民から美術作品を公募し、県民の芸術鑑賞・参加機会を創出し、長崎県の芸術文化の振興を図ることを目的に毎年開催されています。

中村講師は、長崎市高島の今は無い炭鉱の町並みと現存するレンガ造りの遺構をモデルとした作品を出展し、厳正なる審査の結果、入選作品の中でも優れた作品に贈られる長崎新聞社賞を受賞しました。

【中村講師感想】

長崎市内の古いレンガ造りの建築物に魅せられていますが、絵画として成り立たせるにはそれだけでは不十分で、モチーフ選択、構成、技法等一番良い方法を模索する必要があります。今後も、長崎に根差した油彩画を描いてゆければと思います。

なお、本展覧会（洋画部門）は長崎県美術館2階の企画展示室において、10月1日（日）まで開催されております。

